

第3学年公民科（現代社会）学習指導案

日 時：平成〇〇年〇月〇日（〇）第〇時限（14:00～14:45）
 場 所：本校〇〇教室
 対象学級：〇〇科3年（男子40名）

- 1 単元名 「現代に生きる私たちの課題－豊かな生活と福祉社会－」
- 2 単元目標
 - (1) 現代の社会、特に現代の日本社会が本当に豊かであるかを、自ら問い直す姿勢を身に付ける。
 - (2) 豊かな生活を支える物質的、精神的、文化的な諸条件を指摘し、豊かさの意味について考える。
 - (3) 日本の社会保障制度の特徴と、少子高齢社会の課題について理解し、これからの社会保障の在り方を考える。
 - (4) 福祉社会とはどのような社会か、また、その実現のための具体的条件や課題を自ら考えることができるようになる。
 - (5) 上記(1)～(4)の知識や理解に基づき、自分の関心の深い課題の設定とその追究を通して、これからの日本社会の在り方を探ってゆこうとする意欲と手がかりを得る。
- 3 指導計画（全8時間）

第1次	豊かな生活と福祉社会	2時間
第2次	課題追究学習のために	2時間
第3次	課題追究とそのまとめ	2時間
第4次	発表	2時間

	学習内容	学習活動	指導上の留意点	評価の観点
第1次	○豊かな生活と福祉社会			
	1 「豊かさ」とは何か (1) 「豊かさ」とは	<ul style="list-style-type: none"> ・「豊かさ」の現状について調べ、ノートにまとめる。 ・物質的豊かさ、実感できない豊かさとのギャップから「本当の豊かさ」について疑問をもつ 	<ul style="list-style-type: none"> ・これからの授業は、一つの問題提起であり、その確認は自分たちで追究しながら行うのだということを強調する ・なぜ、豊かさが実感でいえないのかその理由を考えさせる 	(a) (b) (c)
	(2) 「豊かさ」の条件 <ul style="list-style-type: none"> ・制度的な整備 ・ゆとりある時間 ・社会資本の充実 ・連帯の精神 	<ul style="list-style-type: none"> ・条件をあげながらノートにまとめる 	<ul style="list-style-type: none"> ・結論を押しつけるのではなく、「自分自身の人生を豊かにするためには」という視点から考えさせる 	(a) (b) (e)
	2 豊かな生活を支えるもの (1) 労働とゆとり	<ul style="list-style-type: none"> ・他の先進国とのデータ比較から日本の現状を知る 		(b) (c) (d)
	(2) 社会資本の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・社会資本とは何か理解する 		(b)
	3 社会保障の充実 (1) 日本の社会保障制度 <ul style="list-style-type: none"> ・社会保障の歴史 ・社会保障制度の現状 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会保障の歴史と社会保障制度の現状を概観する 	<ul style="list-style-type: none"> ・憲法とのかかわりに留意する 	(b) (c) (d)
	(2) これからの社会保障制度	<ul style="list-style-type: none"> ・少子高齢化における社会保障制度の課題を具体的に考察する ・社会保障の財源について考える 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題追究との関連をはかる 	(a) (b) (c) (d)
	4 福祉社会を実現するために (1) 福祉社会とは	<ul style="list-style-type: none"> ・ノーマライゼーションの考え方について理解する 	<ul style="list-style-type: none"> ・身近で具体的に実現すべき課題としてとらえさせるよう、課題追究との関連をはかる 	(a) (b) (d)
	(2) 豊かな社会に向けて	<ul style="list-style-type: none"> ・バリアフリー社会の実現やボランティア活動を推進する社会環境の整備などについて考察する 	<ul style="list-style-type: none"> ・どうすれば誰もが暮らしやすい社会になるのか、自らの課題としてとらえさせる 	(a) (b) (d)

<p>第2次</p>	<p>○課題追究学習のために</p> <p>1 何を調べるのか</p> <p>2 何から調べるか</p> <p>3 どうやって調べるか</p>	<p>・「豊かな生活と福祉社会」のなかで、自分が興味を持ち、自己とのかかわりにおいて主体的に追究してみようと思う課題を選び、選んだ理由をまとめる</p> <p>・選んだ課題について、素朴な疑問点や調べたいことをできるだけたくさんあげ、それを整理する</p> <p>・具体的に何をどのような手段で調査すればいいのか調査の手順を検討し、学習計画を立てる</p> <p>・「本」から調べる</p> <p>・「新聞・雑誌・テレビ」などから調べる</p> <p>・「マルチメディア」から調べる</p> <p>・「人」から調べる</p>	<p>・以下の課題例を参考にさせる</p> <p>(1)「我が国の『豊かさ』の現状」</p> <p>(2)「我が国の社会保障の現状と課題」</p> <p>(3)「福祉社会とは」</p> <p>(4)「誰もが暮らしやすい社会にするために」</p> <p>例(1)の場合</p> <p>①日本の豊かさの現状を健康・生活環境や安全・経済的安定・労働と余暇の4つの観点から調べ、他国と比較することで豊かさの全体像に迫る</p> <p>②現在の私たちが得たもの・失ったもの・忘れたものを調べ、どのように豊かになったのか考察させる</p> <p>例(1)の場合</p> <p>・暉峻淑子著『豊かさとは何か』、広井良典著『定常型社会』、三浦展著『「家族」と「幸福」の戦後史』</p> <p>、『日本国勢図会』『国民生活白書』等</p> <p>・『世界』、『中央公論』、『アエラ』、『ニューズウィーク日本版』等</p> <p>・インターネット検索</p> <p>・祖父母等身近な人の話を聞き、その内容をまとめさせる</p>	<p>(a) (b) (c)</p> <p>(a) (b) (c)</p> <p>(c)</p>
<p>第3次</p>	<p>○課題追究とそのまとめ</p> <p>1 情報を整理する</p> <p>2 情報をまとめる</p>	<p>・調べた内容を調査カードに記録し整理する</p> <p>・整理した情報を課題のテーマに沿ってまとめる</p> <p>課題追究に役立つ内容を選択しまとめる</p> <p>・レポートにまとめる</p> <p>序論…「問題の所在」を明らかにし、その問題を取り上げた理由を示す</p> <p>本論…調査してわかった内容を項目別、問題別に整理・分析し客観的に説明する</p> <p>結論…調査結果を簡潔にまとめ、自分の意見を述べる</p>	<p>・調査した統計数字、国際比較、国内での時系列定変化などのデータを各項目1枚の用紙に記入し、その特徴を簡単な言葉でまとめ用紙の余白に記入させる</p> <p>例(1)の場合</p> <p>・日本は本当に豊かなのか、豊かさの陰で失ったものは何か、これからどのように豊かさを維持していくのかの3つの点からまとめるよう指示する</p> <p>・留意点</p> <p>簡潔な文を書く</p> <p>自分の言葉で書く</p> <p>事実と意見を区別する</p> <p>5W1Hを意識する</p> <p>グラフ・表・写真などを効果的に使う</p>	<p>(a) (b) (c) (d)</p> <p>(a) (b) (c) (d)</p>
<p>第4次</p>	<p>○発表</p> <p>1 まとめたことを発表する</p> <p>2 他人の意見を聞きながら、自分の思いをまとめる</p>	<p>・レポートをもとに発表する</p> <p>・他人の発表を聞きながらメモを取り、自分の考えをまとめる</p>		<p>(a) (b) (c) (d)</p>

※評価の観点 (a) 関心・意欲・態度 (b) 思考・判断 (c) 資料活用の技能・表現 (d) 知識・理解